

# 愛知県図書館の誕生

愛知県図書館は、愛知芸術文化センターの一翼を担う図書館として、平成3年4月20日にオープンしました。

それまでは栄の愛知県文化会館の中にありましたが、広い敷地にもっと大きな図書館をとということで、名古屋城城郭内南西の一角に建てられました。

## 施設の概要



愛知県図書館



旧文化会館愛知図書館

開館	平成3年4月20日	昭和34年4月1日
建築面積(延床面積)	19,604.39㎡	5,847㎡
建物規模	地上5階、塔屋 地下2階	地上3階(一部4階) 地下1階
蔵書能力	約160万冊	閉館当時約68万冊収蔵

\* 旧文化会館の蔵書に開館準備資料を加えて約75万冊でスタートした愛知県図書館の資料は、25年を経て120万冊を超えました。

## 設計から開館まで

建設にあたっては設計競技が行われ、69名の応募者から選ばれた最優秀作品にもとづいて設計が行われました。



平成元年1月20日に着工。  
平成2年10月31日に本体工事が完了しました。



続く半年で移転作業を実施。  
地上1階から4階の開架スペースに約35万冊の資料を、他の資料は125万冊が収蔵可能な地下書庫へ配置しました。

開館初日は約6,000人が来館しました。



『愛知県新文化会館(仮称)設計競技(名城地区-図書館)応募作品集』愛知県1988年



中央階段壁面の大理石レリーフは「世界の文字」。1階がアジア、2階にはヨーロッパの文字が刻まれています。

